

わいまた NEWS

ロイマタとはニュージーランド先住民のマオリ族の間で愛と友情の絆を表すお守りの名前です。

第8号

【発行】 2007年8月20日
特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション
〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509
TEL 03-6657-8539 FAX 03-3499-8539
E-mail: station@ai-port.jp
URL: <http://www.ai-port.jp>
子育て・家族支援者養成講座事務局

笑顔で心の扉をひらく支援

浦安市子育て・家族支援者養成講座修了生を対象にした第五回バックアップ研修が、七月十八日(水)に三十六名の参加者のもと開催されました。

テーマは「活動状況報告及び課題解決に向けた助言」というテーマ。講師は新澤誠治あい・ぽーとステーション代表理事を務めました。

はじめに新澤氏より、「父母・保育者が子育てに関わる様々な課題を抱えている。そんな中、支援者である皆様が関わっていくことへの期待と同時に様々な課題や悩みが生じてくると思います。」とお話があり、続いて支援者の皆様の活動の報告を受ける形で研修が始まりました。

保育園での時間外保育、ひろばでの見守り、学童保育、ファミリーサポートの、まかせて会員、母子保健推進員、民生委員、こども主任相談員など、子育て支援の様々な活動の中には、子どもの自律、親の子どもへの関わり方、保険や安全について、ネグレクトなどの見えない虐待、登校

拒否、支援者自身のスキル、など多くの課題が報告されました。

新澤代表から「人と人との関係が作り難くなっている、子どもたちが育ちにくい世界、子育てが難しい世界ではあるけれども、支援者の方々が、笑顔で心の扉をひらいてあげることが大切。失敗をすることもあっても鍛えられていくことがある。」と助言がありました。

様々な活動の場で生ずる悩みや相談を共有できたことがこの研修の大きな成果であったと感じました。(伊藤)

紙芝居の先生

八月七日(火)、第六回浦安市バックアップ研修が、三十一名の参加のもと行われました。

テーマおよび講師は、前半の「紙芝居おじさんのコツ伝授」をあい・ぽーとの支援者として活躍中の井林靖雄氏が、後半の「活動状況報告及び課題解決に向けた助言」を大日向代表理事が務めました。

井林氏から赤ちゃん向けとして「わん・わん・わん」。少し大きい子ども向けに「ぎゅうつとだつこ」。二冊の紙芝居が紹介されました。0歳から2歳向けの紙芝居はなかなか少なく、探すのに苦労しておられるのだそうです。「小さい赤ちゃんが注視出来るのは、二、三枚の絵だけけど、お母さんの膝の上と一緒に楽しんでもらえることが何よりと、一生懸命探して準備しています。」と井林氏。図書館は、いろいろな絵本と出会うことが出来る場所。紙芝居用の簡単な木枠も借り

バックアップ研修レポート

られる「そうです。「お話をどう伝えたいか、事前にリハーサルして準備をしていると、紙芝居の世界にいつのまにか入り込んでいく。実際の場では、テーブルにオレンジ色のコトンを引いて明るい雰囲気を出します。自分自身も一緒に楽しんでいくのがとてもいい」と伝えています。皆さんも「井林流紙芝居」にトライしてみてください。



続いて、大日向代表より全国シルバー人材センター作成のビデオが紹介されました。日本の各地で、いろいろな世代の方々が子育て支援活動をされている様子に、参加者の皆さんも共感しつつ、ご覧になっておられました。

活動状況の報告では、夏休み中ということもあって、まず学童の見守りについて話題が出されました。児童館等で、低学年の見本になって欲しいのに、実際は漫画を読んで「ごろごろしている高学年生にどう対応するべきか」という質問に対し、「児童の見守りは、手をかけてあげることが支援の基本となる未就学児と異なり、時には見て見ぬ振りをして見守る姿勢も必要。子ども会の運営などについても、大人は手を出し過ぎず、子どもが主役になれるような工夫が大切」と助言がありました。

活発な五歳児の男の子の遊ばせ方については、「子どもの個性や行動特徴をつかみにくい一時保育ではケガの心配は当然。無事に親元に帰すことが、まずは大切。一方、いざというときに備えて保険に加入することや支援者同士での連携・分担・反省のくり返しが大切」との助言。その他、こどものケンカに過剰反応するママさんたちには、お互いのこどもを叱ることが出来るような雰囲気づくりを心がける必要等々、多くの課題について話し合うことができました。(伊藤)

おもしろいケンカについて

連日の猛暑にもかかわらず、八月七日(火)、第六回千代田区バックアップ研修に十一人の方がご出席くださいました。「多用の中、かつつけて下さった吉野センター長から、「子育て支援は、今後、ニーズの増す分野。皆様の多岐に亘る心を込めた活躍に、各所からお褒めの言葉を頂くことが多く、とても嬉しい。感謝と共に、このような学びを通して、ますますのスキルアップを期待します!」との励ましの言葉をいただき研修がスタートしました。この日のテーマは「カウンセリングマインドについてのワーク・事例検討」。講師は大日向代表理事。さまざまなゲーム形式のワークを通して、受講生自らが心と身体で気付くスタイルがとられました。「カウンセリングにとつて大切なのは「言葉をただ聞くのではなく、表情や言葉の裏にある思いを目で捉え、心で感じてはじめて、『相手の心を聴く』が出来る」との言葉に、真の意味で相手の心に添った支援の難しさ、大切さを学ぶことができました。(佐藤)

浦安市

第七回および第八回のバックアップ研修を浦安市 子育て家族支援者養成講座第一期受講修了生を対象に、左記の通り開催致します。「参加ください」。

第七回 バックアップ研修のお知らせ

日時平成十九年九月三日(月) 十三時三十分から十五時
場所浦安市文化会館 三階中会議室

(保育室文化会館 第一練習室)

テーマ:「活動状況報告及び課題解決に向けた助言」

講師あい・ぽーとステーション代表理事(恵泉女学園

大学大学院教授) 大日向 雅美

ご出席の方は八月二十七日(月)までに浦安市こども家庭課子育て係(Tel 047-351-1111 FAX 047-304-1505)までお申込みください。

第八回 バックアップ研修のお知らせ

日時平成十九年九月十八日(火) 十時から十一時三十分
場所浦安市文化会館 三階中会議室

(保育室文化会館 第一練習室)

テーマ:「活動状況報告及び課題解決に向けた助言」

講師 あい・ぽーとステーション理事(白梅学園大学

副学長 汐見 稔幸

ご出席の方は九月十一日(火)までに浦安市こども家庭課子育て係(Tel 047-351-1111 FAX 047-304-1505)までお申込みください。

千代田区

バックアップ研修のお知らせ

第七回のバックアップ研修については未定です。

決定次第お知らせします。しばらくお待ちください。



～子育てひろば「あい・ぽーと」開設4周年記念～

あい・ぽーとふれあいフェスタ

二〇〇三年九月十六日に、地域の新しい「子育て・家族支援の拠点」として産声をあげた「あい・ぽーと」ですが、多くの方々に支えられ、開設四周年を迎えることができました。これまでの感謝の気持ちと、これからも皆さんと共に「あい・ぽーと」を育てていきたいとの願いを込めて、「あい・ぽーとふれあいフェスタ」問い直そう、子育て・見守ろう、子育てちー」を開催いたします。子育て・家族支援者の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 九月十五日(土) 十三時～十五時三十分

場所 子育てひろば「あい・ぽーと」館内・外庭

基調講演「問い直そう「早期教育」と「脳科学」」

小西行郎先生(東京女子医科大学教授)

大日向雅美施設長

交流会 小西先生・大日向施設長を囲んで、会場の親子とあい・ぽーとスタッフ、子育て家族支援者との交流

お問い合わせ 子育てひろば「あい・ぽーと」

(Tel 03-5786-36250)

丸の内・KIDSフェスタ開催

八月十五日(水)有楽町の東京国際フォーラムで催された開館10周年記念事業「丸の内・KIDSフェスタ」に、住友生命保険相互会社のご後援をいただき、あい・ぽーとが参加いたしました。

メインテーマは「汐見じい&大日向グランマと子育てを語ろう」。

親子100名の参加者を迎え、子育ての楽しさ素晴らしさ、ちよとした疑問、日本と世界の子育て事情の違い、これからの子育てへの提言などが語られました。



丸の内・KIDSフェスタ
2007.8.15



会場には、造形遊び・影絵・絵本や塗り絵などの遊び場が用意され、スクリーンに投影された絵本を音楽に合わせて読み聞かせる「音楽絵本」も催されました。「つきよのくじら(戸田和代・作沢田としき・絵)が大きなスクリーンに映し出され、梶浦紀子さんの朗読に乗せて鈴木香代子さんの美しいピアノの旋律、小菅慶子さんのフルートの音色が心に染み渡りました。くじらのぼうやを守るために傷だらけになって深い海にすんでいったとうさんくじら。「とうさんに会いたいな」と、かあさんのもとを離れて広い海にでていったくじら。「今日は絵本のお話のようにお父さんお母さんからほんの少し旅立ってみましょう。」というスタッフの声掛けで、子どもたちは少し戸惑いながらも笑顔で遊び場へ向かうことが出来ました。子どもたちが遊びに夢中になっている間、汐見じい&大日向グランマのお話をゆつたりした気持ちで楽しんだパパとママ。「後ろを振り返る親御さんが一人もいらっしやらなかったのは驚きでした。見守り支援をなさって下さった方々のお力を改めて感じました。」とグランマ。子育ての楽しさ・素晴らしさ・奥深さをたくさんの方が感じて下さった一日となったことでしょう。この日は南青山のあい・ぽーとを休館にして、全スタッフ、パートナーさん、港区の支援者の方々が一丸となって運営にあたりました。あい・ぽーとにとっても、初めて外の世界に旅立った記念すべき日となりました。(佐藤)